



## 総務省「偽サイト注意を」ふるさと納税 自治体に

自治体に寄付すると税が軽減される「ふるさと納税」を巡り、寄付金の詐欺を目的とした偽サイトが相次いで見つかった問題。総務省は、全国の自治体に注意を出すことを明らかにした。

福岡県内では実際に偽サイトを通じて女性が寄付金をだまし取られる被害も起きており、S官房長官は記者会見で「大変残念。警察において取り締まりを行う。総務省からも各地方自治体に注意を促し、対応を要請する」と述べた。

一方ふるさと納税の大手仲介サイト「ふるさとチョイス」や「さとふる」は、相次ぎホームページ上で偽サイトの注意喚起した。

ふるさとチョイスの運営会社は、大幅な割引表示をしていたり、自治体の住所や連絡先の記載がなかったりするサイトは偽物の可能性があるとして、そうしたサイトから寄付をする前に自治体に確認を取るなどの対応を呼びかけている。

## 警官などになりすまし 高齢者からカード回収 現地製アプリ 通信手段に

日本の高齢者を狙う特殊詐欺の拠点が中国にできる背景には、日本の捜査から逃れやすいことや通信手段の発達がある。

国境を超えた犯罪増加を受け、2008年に「日中刑事共助条約」が発効。日中の捜査当局が外交ルートを通さずに捜査協力できるようになった。ただ中国での逮捕権はなく、逃亡した容疑者を引き渡す「犯罪人引渡し条約」も結ばれていない。このため、「中国での捜査はハードルが高い」と捜査関係者は話す。

詐欺グループが主な連絡手段に使っていたのは中国製の無料通信アプリで、日本の警察が情報開示を受けるのは難しいという。グループに所属した男性は「特殊詐欺は電話と名簿があればできる犯罪。国境はない」と明かす。

警察庁によると、17年の特殊詐欺の被害額は約395億円。外国人が関与するケースも増え、大阪府警は昨年高齢者のキャッシュカードで不正に現金を引き出したとして「出し子」の中国人の男女2人を詐欺などの容疑で逮捕したと発表。2人は中国語の会員制交流サイトで詐欺を請け負ったという。

## 防犯カメラリレー捜査

10月に東京・渋谷のハローウィンで若者らが軽トラックを横転された事件は、警視庁によって関与したとされる男15人が特定された。当日の人出は約4万人。群衆の中からどのように個人を特定したのか。決め手になったのは警視庁が「リレー方式」と呼ぶ防犯カメラ捜査だった。

点と点をつなぎ合わせて、事件現場から容疑者の自宅や関係先までを一本の線で結ぶ捜査手法。これが「リレー方式」だ。全国には500万台を超える防犯カメラが設置されているとされ、09年に発足した警視庁の捜査支援分析センター（SSBC）には映像解析の専門チームもある。

ある外国人は警視庁に「日本のハローウィンは狂っている。いくら騒いでも捕まらなると聞いた」と話したという。大半が酒に酔っていたとみられ、逮捕された男たちは「のりでやってしまった」などと供述している。

## ミノムシが紡ぐ「世界最強」の糸

興和（名古屋市）と農業・食品産業技術総合研究機構（茨城県つくば市）は、ミノムシから糸を取る技術を開発したと発表。自然繊維で世界最強とされるクモの糸よりも強く丈夫なことも発見。新しい繊維材料として自動車や航空機への応用が期待される。

ミノムシはミノガの幼虫。カイコやクモ同様、タンパク質でできた糸を吐く。ミノムシの糸は真っすぐに取り出せない難点があったが、特殊な装置を開発。長さ数百メートルの直線の糸を取る事に成功。強度は、クモの糸の約1.8倍、切れにくさ約2.2倍と上回る。

自動車外装に使われる強化プラスチック（FRP）にミノムシの糸を組み込んだところ、強度が数倍となった。耐熱性は340度、ナイロン糸の1/5の細さ、等の利点が見つかった。

今後は量産体制を確立し、早期事業化を目指す。

## 流れ星のタネ 宇宙へ

人工的に流れ星を作る世界初の人工衛星が2019年1月18日午前9時50分、宇宙航空研究開発機構（JAXA）のイプシロンロケット4号機で打ち上げられた。開発した宇宙ベンチャー「ALE（エール）」（本社・東京）の0社長は「エンターテインメントという宇宙の新しい使い方を提案し、子どもたちやたくさんの人に感動を届けたい」と意気込む。

人工衛星「ALE-1」は縦横60センチ、高さ80センチの直方体で重さは約70キロ。「流れ星のもと」になる金属などの混ざった粒（直径1センチ）400粒を搭載している。

人口流れ星の実証実験は2020年春の予定で、広島県の瀬戸内海側を中心に半径約100キロメートルの広い範囲で役1分間の流れ星ショーが楽しめそうだ。

ご存知  
でしょうか？



## クレームと苦情の相違

クレームとは「日常的・悪意がある・常識を欠いたクレーム」があります。

この様なクレームは「不当要求」で正当な理由のない要求です。

苦情とは「正当な要求でまたは意見」です。

私達の日常生活において「苦情」を言いたい時がありませんか？それを「クレーム」として扱われたらどうでしょうか…

苦しい胸中を訴えてこられたので、その思いを真摯に受け止め対応すれば会社のイメージアップになるのでは…「苦情は会社の財産」です。

リストトレーナーより